レッスン：SPA/No.71

テーマ：諸体の再形成

SPA/No.71/KE2000.D/No.5

私の姉妹・兄弟達、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

真理を求める探究者として私たちは自分の気づきを高めるためにワークをしなければならず、そのために多くの知識を与えてきました。この知識を物差し、基準として用いて、毎日の生活における自らの行為・言動をそれと比較する必要があります。この知識を安易に自分のものとして受け取るべきではありません。私たちは探究者であり、自ら探求して、気づきの上昇の結果として得られた体験だけを受け入れるべきです；言い換えれば、体験に基づいた知識だけを、自分の手で触れた知識だけを受け入れるべきです。

ですから、私たちは体験による知識を求めます。どのようにしてそれが可能なのでしょうか？唯一の方法は気づきを高めることだけであり、それ以外の方法はありません。テクニカルな方法の結果から得た知識を持っていると主張する人がいます（この場合、知識とはある現象をいかにして行うかを知っている、という意味です）。しかしそのような知識は私たちのものではなく、そのような知識は真剣な探究者のためのものではありません。あなた方に与えられる唯一の知識は、あなた方が生の特質、生それ自体からより多くを表現するのを助けるような知識であり、それ以外の何ものでもありません。

勿論、そうすることによって気づきがあるレベルに到達すると、その人は何らかのパワーや能力を現すようになることでしょう。そしてそれらのパワーや能力は同胞の人間を助けるために用いられます。

これまでの多くのレッスンで述べたように、パーソナリティーは３つの不定形な体についてワークする必要があります。実際には２つの体です。なぜなら現れとしてのパーソナリティーとは２つの体であり、３つ目は肉体だからです。それら不定形な２つの体は現在のパーソナリティーが、つまり２つの体が肉体の健康に対してどれだけ影響を及ぼしているかを示しています。

健康に影響を及ぼすとはどういう意味でしょうか？私たちが無知のステートにいる時、私たちは肉体の良い健康に働きかけているでしょうか？答えはノーです。実際、その反対です；実際私たちは無知であることの結果として、常に肉体にダメージを与え続けています。そして肉体の良好な健康はアークエンジェルの働きによって与えられています。つまり、肉体の各原子、細胞、分子のなかにおける聖霊の働きによって。そして目覚めている時、私たちは常に肉体にダメージを与え続け、良い健康とは反対のことを肉体に行っています。それ故に、現在のパーソナリティーにとって睡眠が必要となるのです。

眠っている時には、目覚めている時の意識が肉体から離れるので、残された肉体は完全に聖霊の手に委ねられ、目覚めていた時に生じたダメージが修復されるのです。

ですから私たちは現在のパーソナリティーの２つの不定形な諸体についてワークする必要があります。なぜなら、現在のパーソナリティーとして私たちは思考・行動の仕方以外の何ものでもないからであり、それが現在のパーソナリティーなのです。聖霊が肉体を築いて、現在のパーソナリティーがそれを物質界で使用するために提供されるのです。

　ですから、物質界でそれぞれの気づきのレベルを表現している現在のパーソナリティーがいます。確かに、前に述べたように不定形の諸体を再形成するのは簡単なことではありません。しかしそのための助けは全ての人の内側にあります。そしてその助けは、素質的可能性の様々なサイクルによって与えられています。そのようなサイクルは誰のなかにもあり、誰も「でもそれはとても困難なので私にはできません」と言うことはできません。確かにそれは非常に大変ですが、素質的可能性のサイクルによって与えられていることは誰でも達成できるのです。

それでは上からスタートして順にバイブレーションを降りていきましょう。創造界に関して前に述べたように、神の黙想の結果として、これら創造の諸世界のなかでは生が現れています。しかし、創造界とは何の結果でしょうか？創造界は神の黙想の結果であり、存在するもの全ては神の黙想の結果であり、この世界で生じるもの全ては実際に神の黙想による活動なのです。それは神つまり絶対存在のアウタルキー（＊自足）のなかにあり、そこから離れていません。ですから存在しているもの全ては神の黙想の活動の原子、分子、細胞なのです。

さて、様々なイデアを通じて様々な現れが生じますが、例えば人間のイデアを通り、その現れの結果として魂のセルフ・エピグノシスが生じます。セルフ・エピグノシスとは自己実現を与える生の質であり、それは人間のイデアだけに与えられており、他のイデアにはありません。その理由は神の黙想全体が実際に人間のイデアのためにあるからです。

ですからセルフ、つまりモナド・セルフ（＊モナドとしてのセルフ）を現している魂のセルフ・エピグノシスがあります。それは「初めは」生の海における他のモナド・セルフと分離することはできません。そして全ての「魂のセルフ・エピグノシス」は同じであり、違いはありません。例えば、もしそれらのモナド・セルフの一つと会うとすると、それはあたかも全てのモナド・セルフと会うのと同じようなものです。

しかし、神の黙想がその仕事を達成するためには、生の現れは、限界のなかに入る必要があります。そして「魂のセルフ・エピグノシス」の微細なスパークが実存の諸世界のなかに入ります。そのプロセスの結果として、私たちが知っている現在のパーソナリティーがあり、それは生の特質を表現していません。それは生の結果であり、生それ自体によって生かされていますが、しかし生そのものを現してはいません。私たちは生のアイコン、生の影です。現在のパーソナリティーが無知のなかにいる間、するべき努力とはこれらの無知という限界から自由になることです。そして徐々に、少しずつ私たちの真の本質、つまり生を表現するようになるのです。

さて、この実存のバイブレーションのなかにいる現在のパーソナリティーとして、私たちは地のエレメントのなかに、その内側にいて、地の上にいるのではありません。私たちは地のエレメントによって囲まれており、どの方向にフォーカスしようとも地のエレメントによって築かれたものを心に抱いているのです。

私たちはこのエレメントに魅了されており、また自分たちのイメージにも魅惑されています。つまり肉体というイメージです。

ですから、私たちはこのエレメントにフォーカスすることを止める必要があります。どのようにして？繰り返しますが、それは現在のパーソナリティーの不定形な諸体を再形成することによってです。なぜ様々な素質的可能性のサイクルは、そのようなハプニングを現在のパーソナリティーに与えたのでしょうか？その理由は、何であれ生の現れが完全に表現されるためには、手段を使う必要があります。その手段は最大から最小に至るまで、諸宇宙を形成したのと同じフォームでなければなりません。そしてそのフォームは天上人によって与えられたフォームであり、私たちはそれを「生命の木」、「創造のセル」と呼んでいます。

ですから、生を完全に表現するためには、現れの全てのステートはこのフォームを使用しなければならず、さもなければ生を完全に表現することはできません。そして私たちの３つの不定形の体は最初はハートに根付いています。私たちには３つの体がありますが、２つの体は現れとしての現在のパーソナリティーを意味します。３つ目の体は肉体です。私達は諸体の形を再形成する必要があり、それによってノエティカル体の中心は上方に移動し、良い肉体の健康を意味するセンター、中心は下方に移動します。そしてサイキカル体の中心は同じ場所、つまりハートの位置に留まります。

そしてこれら３つの体の形が完全に再形成された時、言い換えれば天上人(Heavenly Man)と同じ形を帯びた時、その時現在のパーソナリティーは自己実現した人となるのです。

しかし、その時でも現在のパーソナリティーは転生のサイクルに留まることでしょう。しかし、転生のサイクルに留まっても、自己実現した現在のパーソナリティーは生を完全には現していませんが、現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルによって定められた特質を完全に現しています。それらの能力のなかにはイエスキリスト・ロゴスによって表現されうる能力もあり、いわゆるキリスト意識と呼ばれるステートです。

つまり、そのステートは何であれイエスキリスト・ロゴスが提供するものを提供していると以前述べましたが、なぜなら、絶対存在のこの現れは総体としての人間を意味しているからです。それゆえに、自己実現した現在のパーソナリティーは何であれイエスキリスト・ロゴスが表現したものを表現することができる、と言ったのです。しかし私たちは何であれ汎宇宙的キリストロゴスが現しているものを現すことができるでしょうか？答えはノーです。私たちは「魂のセルフ・エピグノシス」が現しているものを現すことはできません。

ですから、私たちは不定形な諸体の形を再形成することに向かって努力すべきであり、それ以外にはありません。パワーと能力を現すために提供された手段は何であろうとも真剣な探究者のためにものではありません。これで終わります。

Ｑ：肉体の健康については、日常生活におけること、そしてまた喫煙のような私たちが好んで行うことも関係しているのでしょうか？

Ｋ：毎日の行動、表現によって私たちはたくさんのエネルギーを燃焼させていますが、エネルギーは肉体の健康にとって不可欠です。その結果エネルギーが欠乏し、様々な病気が生じます。肉体の病気、さらにはアンバランスな現れという病気も生じます。それら全ては毎日の生活に対する私たちの態度、行動の結果です。それは様々なものやステートに私たちが与える価値観の結果です。私たちが知っている全ての病気は気づきのレベルの現れの結果です。

何であれ素質的可能性のサイクルが提供しているものを私たちが現している限り、肉体はどんな病気にもなりません。

現在のパーソナリティーは肉体を消したり現したりすることができるようになります。

**そして全ての自己実現した現在のパーソナリティーの肉体は同一になり、肉体に異なった特徴はなくなります。**

**結局、私たちの個性は経験、過去の経験の結果であり、各人の経験が異なるので異なった個性が生じるのです。**

それは私たちのアイデンティティー、つまり名前というアイデンティティーの結果です。なぜなら、

**名前というアイデンティティーの背後には別のアイデンティティーがあり、そのアイデンティティーゆえに、遠く離れた場所から人は他の人に助けを送ることができるのです。それは経験によって変わることのないアイデンティティーです**。

Ｑ：しかし、機械としての肉体は筋肉が適切に働くためには燃料を必要とし、様々な器官が適切に機能するために肺が特定の成分を提供しなければなりませんが、一般に人間の食事内容は完全に間違っています。それと私達の努力とはどのような関係がありますか？

Ｋ：食べ物はまず第一に水によって活性化されていますが、それもまた地のエレメントです；私たちが食べ物を食べるということは、私たちが地のエレメントにフォーカスしているからです。

**人が自己実現に到達したら、肉体を維持するためにさえ食べ物を必要とはしません。**

**肉体にダメージを与えることもないので、筋肉のエクササイズも必要ありません。なぜなら、自分が望む通りに肉体を維持することができるからです。何よりもまず、あなたはいつでも肉体を非物質化したり、再び物質化することができるのです。**

実際、あなたがそのステートに到達するなら、バイブレーションを下げる理由がなければ、肉体を必要とすることさえないのです。しかし、もしあなたが自分のバイブレーションを下げて転生のサイクルに留まるなら、勿論肉体は現れのバイブレーションの結果を被ります。ですから、その場合は状況が違います。しかし、そのようなことが起きるのです。

そうです、私達が自己実現のステートに到達すると、現在のパーソナリティーは自分のアークエンジェル的状態を完全に現すでしょう**。**

**現在のパーソナリティーはアークエンジェルとなるのです。現在のパーソナリティーが不可視のヘルパーになると言う時、その意味は現在のパーソナリティーはアークエンジェルとなるということです。**

勿論、アークエンジェルとしての本質を得ると言う意味ではなく、アークエンジェル的状態になるという意味です。私たちがアークエンジェルの本質を現すことはありません。なぜならアークエンジェル的本質は「魂のセルフ・エピグノシス」だけが現すからです。これが現在のパーソナリティーが現すことができるものと「生それ自体の諸世界における生」が現すことができるものとの違いだと思います。

そして元型、イデア、法則、原因の諸世界があり、それらは生の世界であり、４つのヘブンです。そして現在のパーソナリティーの３つのヘブンがあり、それは実存の諸世界であり、つまり物質界、サイキカル界、ノエティカル界です。しかし、より高い実存の世界では、つまりサイキカル界とノエティカル界ではそれら２つが分離しているわけではありません。

唯一、自己実現した現在のパーソナリティーにとっては双方は分離している、と言うことができます。

**その人はサイキカル体のバイブレーションを高次ノエティカル界まで上昇させ、地球の重力から離れて同胞の人間達を助けるのです。言い換えれば、宇宙飛行士達が地球の重力を離れる時だけです。なぜなら、サイコノエティカル体ではこの重力から離れることはできないからです。あらゆる天体とつながっている唯一の海、それはスーパーサブスタンスの海です。**

Page4

Ｑ：ある人が自己実現していて他のバイブレーションで生きている時にはいかなる食べ物も必要としない、ということはわかります。しかし、大部分の人々のレベルにおいては栄養やダイエットなどに関する話題があります。例えば、女性はもっとカルシウムを摂取する必要がある、子供は良い骨格を作るためにもっとミルクを飲むべきだ、等です。「私たちは肉体を築き維持する上で完全に聖霊とアークエンジェルに依存しているので、正しい栄養を摂取するための努力は必要ない」と言うことができるのでしょうか？

Ｋ：無知のなかにいる故に努力が必要です。つまり、バランスを取るという努力です。私達の現れの故に肉体にダメージを与えているので、その結果を被らねばなりません。その結果の一つとして食べ物の必要性、および適切な食事です。

Ｑ：今日誰かが私に質問しました。私がリンゴを食べている時、私はリンゴという実質以外にも他のもの、何らかのエネルギーを摂取しているのかと。

Ｋ：そうです。全ての内側には特定のバイブレーションのエネルギーがあります。そしてエネルギーのバイブレーションという時、それは肉体のダブル・エーテリックに働きかけています。それは肉体それ自体に働いているわけではありません。もし私たちが適切な食事に従わない時、その結果は肉体ではなくてダブル・エーテリックに来るのです。

**薬を摂取するとき、薬の効果も肉体ではなくダブル・エーテリックに働くのです。**

実際、物質化・非物質化を行う霊的ヒーラーはダブル・エーテリックに働きかけているのです。

Ｑ：しかし、それは双方向で働かないでしょうか？例えば、ある痛みを軽減するために薬を飲みますが、その薬は肉体の他の側面に害をもたらします。

Ｋ：ダメージは肉体に対してではなく、ダブル・エーテリックに対するものであり、それが結果として肉体に現れるのです。勿論、結局薬というものは試行錯誤の結果であり、それらは実験室でテストされるのです。一連のテストを通じて、この薬はこの病気あるいは他の病気を癒すという結論に到達します。つまり、科学者は原因を追求するのではなく、結果に対処するのです。そして全てのテストは結果に対してのみ行われ、彼らは原因へとは向かいません。そうです、あなたは原因を治すために薬を飲み、そして副作用が生じます；実際全ての薬には副作用があります。なぜなら、結果だけを見ているからです。つまり原因を治さないからです。

Ｑ：しかし、それはダブル・エーテリックに様々なバイブレーションがあるということではないでしょうか。例えば、ある人がリウマチその他の病気を癒すためにアスピリンを飲みます。そしてアスピリンは長い目で見れば胃の潰瘍を引き起こします。ですから両方ともダブル・エーテリックに働きかけています。ですから、どうしたらダブル・エーテリックに対して良い結果だけを得ることができるのでしょうか？

Ｋ：同時に良い結果と悪い結果が生じます。どれだけ良い結果が生じ、どれだけ悪い結果が生じるかは、時には現在のパーソナリティーによります。現在のパーソナリティーの現れのステート次第ということもあります。それゆえに、ある薬がある人には効果があるのに、他の人には効果がないということが起きるのです。副作用はそれぞれのパーソナリティーによって異なります。どうしてでしょうか？もし肉体だけが結果をもたらすのであれば、全ての人に同じ結果が起きるはずですが、そうはなりません。何が違いをもたらすのでしょうか…気づきのレベルでしょうか？

もしあなたがリンゴに意味を与えれば、何であれあなたが吸収するもの全てに意味を与えるなら、それは全てに効果をもたらすでしょう。もしあなたがエクササイズに意味を与えれば、その結果はより良いものとなります。誰かが、みんながやっているからといって、同じ事をやっても、何も結果は得られないでしょう。しかし、自分がやっているエクササイズに意味を与えれば、結果はより良いものとなります。何故でしょうか？それはパワーが与えられるからです。そして意味は努力よりも強力なのです。もしあなたが意味を与えれば、徐々にゆっくりと肉体がそれに従うことがわかるでしょう。

Ｑ：無定形の諸体を発達させ、再形成させるためのベストな方法は、意味を捨て去ることによって生が流れるようにすることである、とあなたは言うのですか？

Ｋ：そうです、私たちは意味の世界、相対立する二元性の世界に住んでいます。

結局、思考とは何でしょうか？それは二元性の結果です；思考とは同時に問いと答えがある動き以外の何ものでもありません。それが思考です。しかし生にとって思考は必要ありません。生は思考ではなく、それは黙想することであり、そこには大きな違いがあります。思考は二元性の結果ですが、生は二元性を必要とせず、生はいかなる意味も必要としません。

結局、気づきが上昇するにつれて意味は常に変化します；悪いと見なされたものも、数年後にはもはや悪いと見なされないということがあります。善悪の意味はいつも変化しています。昨日まで許されていたことも、高次の現れから見ると許されないことがあります。意味も変化しており、徐々に善悪の意味も変化しています。そしてパーソナリティーは言葉という手段を使わず、代わりに同調によって交流できるようなステートに到達することでしょう。

**あなたが同調を現している時には、もはや考えることはせず、意味は存在しません。ただ何かと同調するだけです。**

Ｑ：現在の所、私はそれらのことを理論として知っています。私は二元性の世界に生きており、常に意味によって機能しています。私にとって思考、プログラムされた思考という絶えざる爆撃から少しの間自分を解放するために役立つと思う方法は、実際に意識的にそれに注意を向け、自分自身に向かって「私は今ここから離れ、それなしで存在し、意味を持たせることなしに何であれ今あることに注意を向ける。なぜなら何に対してもはっきりとした意味をもたないからだ」と言うことです。

Ｋ：しかし、それはどういうことですか。思考から外れて、今というリアリティーの中に入るということですか？

Ｑ：自分が意味を作りだし、その意味をあらゆる所に貼り付けようとしていることに気づくことです…つまり、それによって他者を支配し、何が良くて何が悪いか等全てを自分の意味、自分のストーリーに合うように解釈しようとしています。ですから、意識して自分自身に言います、「オーケー、これが私がしていることだ。でも今はそうすべきではない」と。

Ｋ：しかし、多くのレッスンにおいて、現在のパーソナリティーは出来る限り各瞬間に生きるべきであると述べてきました。意味とは何でしょうか？意味なしでは、あなたは自分が存在していることさえ認識することができません。二元性を現していないパーソナリティーは自分の存在を認識できません。植物状態になっている人間という現象があります。思考の動きを停止することは不可能です。

Ｑ：しかし、あまりにも多くの考えが出てきます。

Ｋ：全ての考えではなく、あなたの興味を引く考えに、あなたの益になる考え、現在のパーソナリティーにとって益となる考えにフォーカスするのです。無知のなかに留まりたいと思うパーソナリティーではなく、サイコノエティカルな成長に向けてフォーカスするパーソナリティーの部分にとって益となる考えにフォーカスするのです。

**しかし、思考の動きのスイッチを切ることは不可能です。しかし、残念ながら、そうすることを試みるメソッドがありますが、それはとても危険なことです。言葉、マントラを繰り返し唱えるような瞑想は非常に危険です。**

あなたはある動き、あるバイブレーションに意識的にフォーカスします。中立的なバイブレーション、中立的なものはありません。何であれこの次元で現在のパーソナリティーが表現するもの、それは人間のあるレベルの気づきによって築かれた、あるいは今新たに築かれた何かに関係しています。それら全ての言葉は中立的、ニュートラルなマントラとして提供されていますが、しかしそのようなものはありません。それにフォーカスすると、ある過去のエレメンタルを活性化することになります。

現在のパーソナリティーは徐々に機敏でないステートに近づきます。しかし、思考の動きは続いています。そのステートにあるパーソナリティーは「自分はこの肉体を通じて自己を現している」と言います。そして現在のパーソナリティーは潜在意識のドアーを完全に開いた状態に到達し、その状態を非常に長い間保ちますが、それはとても危険なことです。勿論、誰もがそのようなステート、状態を経験しますが、それは目覚めている意識状態から離れて眠りの状態に入るときであり、それは非常に速いスピードで移行します。勿論、

（＊マントラなどを使って）そのような実習をしているパーソナリティーはその時日常生活の煩わしさから離れ、良い気分でいます。しかし、それがトリックなのです。それはドラッグをやって一時的に良い気分に浸っているのと同じです。

しかし、その後何が起きるでしょうか？

ですから、

**いわゆる超越瞑想は止めるべきであり、これは私からの個人的なアドバイスです。**あなた方は、自分もアガピという言葉を繰り返し使っている、と言うかもしれません。しかし私たちはアガピという言葉をほんの数秒間、全ての人のなかにある主のアガピ、「生の海」に同調するために使用しています。ほんの数秒間だけであり、

**真剣な探究者としての私たちが求めるものは常に機敏であることのみならず、困難と向き合い、問題と向き合い、やるべき事を放棄するのではなく解決策を見いだすために超機敏となることを求めます。私達は自分たちの問題と向き合い、それらを解決しなければなりません。そうしなければ問題を取り除くことはできないでしょう。**

Page6

Ｑ：数秒間それに同調するだけでどうして可能なのですか？

Ｋ：私たちは同調することを求め、私たちは常に究極のものを求めます。主は全てを活性化し、生かします。主は遠くにあるのではなく、あなたのなかに存在します。主は全てのなかに存在し、あなたのなかにも存在します；しかし、何回も続けて唱えなくても主はちゃんと聞いています。そのようになっているのです。重要なことは、あなたがそれに与える意味です。もし意味を抱きながら座り、100％そこに注意を向けて唱えるなら、そうとわからなくてもそれは実行されているのです；勿論、その効果が現れるまでには時間がかかりますが。それは毎日の生活においてあなたがどれだけワークをしているかにもよりますが。なぜなら、真理の探究者のワークは内省をしたり、エクササイズをやるだけではないからです。それだけでなく、毎日の生活のなかであなたの知識を実践する必要があります。それこそが本当に重要なのです。ただ何が正しくて、何が間違っているかを知っているだけではなく。私たちは同胞の人々に対する自分の現れの結果として、人々に対してもっともっと役立つ存在となるべきです。言い換えれば、私たちは全てに対して笑顔をもって向き合い、しかも同時に責任ある人間であるべきです。

「魂のセルフ・エピグノシス」のイデアに戻りましょう。そうです、初め「魂のセルフ・エピグノシス」として創造界のなかで「生」の現れとして存在します。そして、この現れは「生それ自体」、「存在の諸世界」のなかの４つのヘブンのなかにあります。しかし、もし「生」がそのような現れのステートに留まるなら、「神の黙想」による仕事は果たされません。ですから、実存の諸世界に向けて「魂」の状態から微細なスパークとして放射されます。この位置から下にです。しかし魂がこの位置に到達すると、その位置とは「存在の諸世界」と「実存の諸世界」が分かれる位置です。

その位置からは「魂のセルフ・エピグノシス」は、それは実際「魂」なのですが「永遠のパーソナリティー」としか考えないようになります。実存の諸世界のなかでそれ自身を理解したいと求めるのは「魂」のその部分です。そしてその位置から、現在のパーソナリティーは「魂」によって活性化されるのです。それは「生の」スパークに加わる位置です。私たちのなかで「永遠のパーソナリティー」から「生」のどのスパークが引き出されたにせよ、そのスパークは他と離れているわけではありません。しかしそのステート、状態を言葉で定義、説明することは不可能です。それゆえに私たちは「永遠のパーソナリティー」と呼んでいるのですが、実際にはそのようなものはありません。

**「永遠のパーソナリティー」があり、「永遠のアトム」がありますが「永遠のアトム」は「永遠のパーソナリティー」つまり「魂」からの乗り物です。それは各現在のパーソナリティーと共に行ったり来たりします。そして「永遠のアトム」は現在のパーソナリティーの不定形の諸体です。**

なぜならば、何であれ私達が「得る」ものは私達が行うレッスンの結果としてのワークの結果、経験の結果だからです。それは失われることはありません；

**私達は再びそれをもって生まれてくるのです。**

**現在のパーソナリティーとして、私達は過去の転生の全ての経験を総計したものだからです。**

そうです、私達は何かを現すためにワークする必要があります。人生における全ての良いこと、それは一生懸命に努力した結果なのです。

Ｑ　例えばガンと告げられた人はしばしば代替療法を探しもとめ、大きな努力を払います。私はそれは恐れから自由になるためのフォームではないかと感じます。その結果。代替療法は多くの人々に効果を発揮しているのではないかと思うのですが。

Ｋ：なぜなら、彼らはそれに（＊病気に）多くの時間をフォーカスしないからです。何かを行っている時、その行っていることに適切な意味を与えれば、つまり行っていることに自分自身を与えれば、その間その人は問題にフォーカスしていません。しかし、フォーカスしないでいることは簡単なことではありません。それゆえに、様々な病気を持つ人々に提供されている多くのメソッドがありますが、それらが全ての人々に効果があるわけではないのです。10人のうち1人に効果があるかもしれず、時には誰にも効果がない場合もあります。それはまた原因・結果の法則にもよります。そのパーソナリティーが経験している努力だけに左右されるわけでもありません。

EREVNA SPA/71/KE2000/D5